

5 課 あそこはカレーがうまいんだ

1 章 東京は晴れ、気温は20度です

▶▶▶▶ 日常のどんなところで使っているだろう

<は>

115番は電報、116番は電話の新設や移転、117番は時報。

さて118番は・・・。

(日経新聞・春秋／2011年1月18日)

「おとうさん、WOCって、何の略称」

「Wはワールドでしょ。Oはオリンピック、Cは・・・」

「じゃ、WBCは？」

(親子の会話)

Hさんは、誕生日は3月15日、家は練馬、家族は4人です。

(グループメンバーの紹介)

<が>

きょうは、山がよく見えるね。

あ、バスが来た。

お湯がわいてるよ。

(日常の会話)

◇◇◇ 助詞「は」「が」を使って話しましょう

文 法： 助詞「は」と「が」

表現の形： I ～は ～です

II ～が

表現意図： I 「は」で、これから話そうとする話題を取り出す

II 「が」を使って、気がついたこと、発見したことを言う

👉 これだけは押さえておこう——「は」と「が」の働き

▶ 「は」と「が」を比べてみよう

下に示した文を比べてください。＜～が……＞文と＜～は～です＞文です。双方から受ける感じがちがいますね。それぞれの文は何を伝えてきますか。

一文からすぐ情景が浮かぶのはどっちですか。それだけでは、「ん？」という感じがするのはどっちですか。

1. 「りんごが 安いよ」 vs 「りんごは 安いよ」
2. 「カナリアが 逃げた」 vs 「カナリアは 逃げた」
3. 「子ねこが いる」 vs 「子ねこは いる」
4. 「犯人が 捕まった」 vs 「犯人は 捕まった」
5. 「昔々、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました」
vs 「昔々、あるところに、おじいさんとおばあさんはいました」
6. 「川で洗濯をしていると、桃が流れてきました」
vs 「川で洗濯をしていると、桃は流れてきました」
7. 「太郎がふたを開けると、けむりが出ました」
vs 「太郎がふたを開けると、けむりは出ました」

伝わってくる意味の違いを意識するために、「りんごが安い」と「りんごは安い」が、それぞれどんな場面で使われているか想像してみましょう。

「りんごが 安いよ」

スーパーで、山積みのりんごについた激安の値段に気づいて、連れに思わず声をかけました。

- A: りんごが 安いわよ。
B: 本当だ。なに～、この値段！ 安～い！
A: ねっ、ぜったい お買い得よ。
B: きのう 買うんじゃなかったな～。

と、話題はひたすらりんごに集中して終わりました。

「りんごは 安いよ」

新年会の世話役二人、わずかな予算で、スーパーにくだものを調達に行きました。二人は、売り場に並んだくだもの <りんご、いちご、みかん・・・>を見比べ、

それぞれについて検討し、どれに決めるか相談をしています。

A： いちごはどう？

B： 高いよ。この予算じゃ無理！

A： そうだね…。りんごは安いよ。

B： まあね。でも、味はどうか～。

A： じゃあ、みかんは？ おいしそうじゃない？

B： うーん…。いまひとつだなあ。やっぱりりんごにしようか。

整理すると・・・

<～が……>文は、一文ではっきりと情景が浮かびます。

<～は～です>文で話を切り出すとき、世話役二人の意識はくだもの全体を見渡しています。ここでは、話し手は全体の中から「いちご」を取り出して、それについて何らかの考えを伝えようとしています。一方、聞き手の視点は「じゃ、りんごはどうなの？ みかんは？」と、ほかのくだものにも向いて動き出します。背景の広がりから興味あるものを取り上げて、それについて話しているのです。

「は」の働きを感じてみよう

日本語を母語としている人であれば、話を切り出すとき「が」か「は」を瞬時に使い分けてしまいます。使い分けているという意識すらないのが普通です。『が』と『は』は、どう違いますか？ という学習者の疑問に答えるために次の1～7から、「は」が背後に広がりを持っていて、聞き手の意識をそちらへ広げる力を持っていることを、感じとってください。

1. 「りんごは 安いよ」 みかんも安い？ いちごはどうか。
2. 「カナリアは 逃げた！」 カナリアの他に、何、飼っていたのかな。
3. 「子ねこは いる」 何がいなくて言っているんだろう。親ねこ？
子いぬ？
4. 「犯人は 捕まった」 盗まれた金は出なかったんだ。
5. 「昔々、あるところに おじいさんとおばあさんは いました」
そこには、若い者はいなかったんだ。
6. 「川で洗濯をしていると、桃は 流れてきました」
あと何が流れてくるのを期待していたんだろう。

7. 「太郎がふたをあけると、煙は 出ました」

財宝とか、不老長寿の薬でも出てくると思っていたのかなあ〜。

セクション I



イラスト版 p. 2

クラスの前に準備すること

【1】 「は」の働きを意識化しよう

ここまでの考察で、「は」について次の二点がわかりました。

1. 「は」は、＜同質のまとまり＞例えば『売り場のくだもの』の中からトピックにしたいもの(例えばみかん)を取り立てて、話を切り出すときに使う。
2. 話し手と聞き手は、トピックの元にある＜まとまり＞を共有している。

このことを実感するために、日本人同士で次のことを実際にやってみましょう。グループのメンバーの、日頃あまり気付かない面を紹介し合います。

- ① 参加者を、五人ぐらいずつのグループに分けます。
- ② まず、紹介する項目を全員で考えましょう。

(家族の人数・血液型・趣味・好きな食べ物など)

- ③ 次に、メンバーの名前と②の項目を書き込む表を作ります。

	家族の人数	血液型	趣 味
名前 1				
名前 2				
名前 3				
名前 4				

- ④ 各グループで、メンバーを紹介する人(代表)を選びます。
- ⑤ 代表は、グループのメンバーから個人情報をもって表を埋めます。
- ⑥ 代表は、書き込んだ表を見ながら、他のグループのメンバーに、自分のグループの人たちを紹介しましょう。

その後、次の二点を振返ってみましょう。

⑤で、メンバーは、情報を代表に伝えるとき、どんな日本語を使えばよかったか。

「家族の人数は〇〇です。血液型は・・・」と<～は～です>文を使えばいいですね。

代表に提供する複数の項目から、トピックにしたい項目を一つずつ「は」で取り立てて、順次情報を提供していくのが一番簡潔な方法です。

⑥で、代表は、メンバーを紹介するとき、どんな日本語を使えばよかったか。

『××さんは、[家族の人数は〇〇です。血液型は・・・]』と、まず、トピックにしたいメンバーを「は」で取り立てて、それから、提供された情報を伝えます。

【2】 I A (例)を使って「は」の基本の働きを捉えよう

これからやろうとしている「世界の都市の天気予報」も、「メンバー紹介」と全く同じ進め方ですることができます。

「メンバー紹介」の、代表に対応するのがテレビのキャスター。紹介するグループの、メンバーに対応するのが七つの都市。提供する情報「家族の人数・血液型など」に対応するのが、「天気・気温・湿度など」です。

	(天 気)	気 温	・・・	・・・
東京				
バンコク				
ニューデリー				
・・・				

上記の「メンバー紹介」を、日本語のクラスでも、日本人、外国人取り混ぜてぜひやってみましょう。知己の間柄でも、思いがけない発見があったりして楽しいものです。

<項目>は先に挙げたものの他に、好きなテレビ番組、行きつけの飲み屋、カラオケで歌う歌などを選ぶとあっそう楽しいものになりますし、同じ「表現の形」を骨組みとする「世界の天気」を学習する予習にもなります。

「世界の天気」は、「は」の働きをシートではなく、地図の上で理解していくことになります。世界の天気について話を楽しみながら、「は」の働きを感じてもらいましょう。

ステップ1 「は」の働きに目が向くような質問を用意する

- ・ イラストを見てください。天気予報の時間です。キャスターが予報している七つの都市はどこですか。
- ・ キャスターは、それぞれの都市について二つのことを予報しています。
何と何ですか。 (天気と気温)
- ・ 天気予報では、一般的に天気と気温のほかにどんなことを予報しますか。
地域によっても、季節によっても違うと思いますが、皆さんの故郷ではどうですか。
温暖化によって、天気予報の内容が変わったと感ずることがありますか。
- ・ イラストの右上に、天気を表す三つマークがあります。
何のマークでしょう。 (晴れ・曇り・雨)
- ・ キャスターは、東京の予報から始めます。
天気はどうですか。 (晴れ)
気温はどうですか。 (20 度)
- ・ では、東京の天気をキャスターになって言ってみましょう。
(東京は晴れ、気温は 20 度です)

イラストに、(例)が書いてありますが、「他の言い方はありませんか」と、自分の考えを言ってもらいましょう。

注意 「東京は、天気は晴れ、気温は 20 度です」ではないかという質問が出てくる可能性があります。「メンバーの紹介」はこの形でしたし、天気予報を聞いていると、そう言っている場合もあります。ですから、それも正しいと受けてから、最初の情報が天気であることは、聞いている側も了解していることなので省略する場合が多いと伝えましょう。

意見が出尽くしたら次へ進みます。

- ・ 地図を見て、①～⑥の都市の天気と気温を言いましょう。

その後、CDを聞いてリピート。④⑤⑥では、「は」が省略されていることに注意しましょう。

補 足 「会話 1」（イラスト版 p. 4・CD トラック No. 5）に、キャスターによるこのイラストの天気予報が収録されています。「は」の省略や「も」への変換など、現実の話し方に近づけてありますから、ここで聞いてください。

ステップ 2 **話を広げる**

続いて、自分の故郷の天気について自由に話しましょう。

- ・ お国の今日の天気がどんなかわかりますか。

今日の天気だけでなく、最近の気象の傾向についても自由に話しましょう。
最近の異常気象は世界的です。話題に事欠かないと思います。

補 足 よく使われる気象の語彙をあげておきます。湿度、風向き、波の高さ、降雨量、降雪量、台風などのほかに、最近は、局地的な雷雨や、ゲリラ豪雨、竜巻警報、花粉情報、紫外線情報、熱中症注意報などもあります。

注 意 自分の国の天気を言う場合、天気予報で聞いたのなら、「今日の天気は～だそうです」「気温は～と言っていました」と伝聞の形になります。見当をつけて言うのなら「～だろうと思います」「～かな」など、適切な表現を提供するよう心がけましょう。

クラスワークの進め方

【1】 1 A（例）を使って、「は」の働きを理解しよう

「クラスの前に準備すること」を参考に、**ステップ 1. 2** に沿って進めてください。

【2】 1 B「各国の通貨」をやってみよう

せりふの下に「\$・£・元」が書いてありますから、「通貨」がそれらの総称であることはわかると思います。

- ・ 今度はいろいろな国の通貨の話をします。

皆さんの国のほか、四つの国の通貨が話題になっています。

- ・ 「通貨の名前、知ってる」という女性の問いかけに、男性は日本の通貨で答えています。何と言っています。 (日本は 円だよ)
- ・ では、続いて、皆さんのお国の通貨を教えてください。

そのあと、①～④の国の通貨について、話を進めましょう。

- ・ ～の通貨は何ですか。

と問いかけていきましょう。通貨の勉強ではありませんから、知らなければ「知りません」と答えればいいですね。

ほかに世界各国の通貨で、名前を知っているものがあれば紹介しましょう。

➡➡➡ もう一度、日常の生活に戻ってみよう！

p. 1 の ➡➡➡ を参照して、次のような活動をするのはどうでしょう。

1-1. 次のようなとき、何番に電話をかけますか。

警察への急報／火事・救助・救急／海の事件・事故

1-2. 何の番号でしょう。何を聞くと、かけますか。

110／177／104

2. PKOは、何の略称ですか。 (他に、TPP、WTOなど何でも)

3. 次のことを、あなたの国のことばで何と言うか教えてください。

$5 + 5 = 10$ ／ $7 - 1 = 6$ ／ $2 \times 4 = 8$ ／ $9 \div 3 = 3$

おいしい。 あぶない！ いやだなあ・・・。

セクションⅡ

イラスト版 p. 3

クラスの前に準備すること

【1】ⅡA・Bのイラスト群を見て、「が」の基本の働きを捉えよう

「が」の働きは、『「あっ!」と思ったこと、発見したことを言う』(イラスト版 p. 3) とあります。それなら、『あっ、財布だ!』と言ってもいいわけです。し

かし、財布の発見したときの状態もいっしょに伝えたいときは、

「財布が 落ちている」

と、発見したものとその状態を「が」でつないで文を作ります。

Aは、発見したり、気がついたりしたときの驚きや、つぶやきです。

Bは、発見したことや気がついたことを、他の人にも伝えようと働きかけています。

▶ 状態を表す「～ている」形

ものごとの状態を述べるという性質上、<～が.....>文の点線の部分は、「いる／ある」「安い／おいしそうだ」「～ている」など、存在や状態を表す形になります。ここでは状態を表す「～ている」形について考えましょう。

自宅に帰った時、来客がいることに気づけば

- ・ あれ、客が来ている。

家の前に見知らぬ車が駐車していれば

- ・ あれ、家の前に車が止まっているぞ。

と言うでしょう。

人やものの状態を表現するとき、そこにいたる前の動作「来る・止まる」をわざわざつけて、「来ている」「止まっている」という形をとるのが日本語の特徴です。ごく日常的に使われている表現です。

次の、①～⑤の文は、発見したり、気づいたりしたことを表す文です。

下線のところに、動詞の「～ている」形を入れて、状態を表す文にしましょう。

- ① 例： 大変だ！（台所のガラス）が 割れているよ。 泥棒が入ったか！
- ② あれ、ほっぺたに（ごはんつぶ）.....。 おにぎり食べたの？
- ③ 隅のほうに（ほこり）.....。 ちゃんと掃除したの？
- ④ 明るいと思ったら（月）..... んだ。 十五夜かな？
- ⑤ あ、ネクタイに（しみ）.....。 またクリーニング代が...
- ⑥ あら、ひざから（血）..... じゃない。 転んだの？

では、各イラストを見て、次の二点に注目しましょう。

- ① 目が捉えたものは何か
- ② それは、どんな状態か

ステップ1 <.....が~ている> の働きに目が向くような質問を用意する

Aのイラスト1を見て、まず、その状況を自分ならどう表現するか考えてもらいましょう。

- ・ 歩いているとき、男の人は、何に気がつきましたか。 (さいふ)
- ・ さいふがどうなっているか、ひとこと言っています。

何と言っているでしょう。

<落ちている>という表現は出にくいと思いますが、発見者になったつもりで、自由に発言してもらいましょう。意見が十分出たから、CDを聞きます。「母語ではこう言うんだけどなあ」という、頭の中にできたイメージに、日本語の表現が重なります。

状態を表す<~ている>には特に注意して、形をしっかり意識するようにしましょう。

CDには、「あっ」とか「あれ」のような何かに気づいたときに口をついて出ることば(音)が収録されています。イラストを見ながら、それもいっしょにリピートしてください。

補足

イラスト版 (p. 16・CDトラック No. 40) に、「拾ったさいふをどうするかについての4行会話が収録されています。話し合いのいいきっかけになると思います。聞いて自分ならどうするか話してください。

何か拾った経験があれば、どこに落ちていたか、その後どうしたか話してもらいましょう。拾ってもらった経験でもいいですね。

クラスワークの進め方

II - A

【1】 イラスト1を使って、「が」の働きを理解しよう

「クラスの前に準備すること」を参考に、**ステップ1**に沿って進めてください。

【2】 イラスト2～6をやってみよう

イラスト2 あ、ねこが 顔を洗っている

「あっ、ねこがいる」でもいいですが、飼いねこについての発言としては不自然ですね。

- ・ ねこが何している？

と話を進めましょう。[顔を洗っている・頭をかいてる・目をこすってる、花粉症？おいでおいでをしてる、何か用かな？]何でもいいですね。ただし、この「～ている形」は状態ではなく、進行形です。

イラスト3 あんなところに人がいる

▶ 「人」とはだれのこと？

「人」ということばは、よく使いますが、「あの人」とか「隣に座った人」とか具体的に誰かを指すときには使えても、「人のものはよく見えるものだ」のような不特定のニンゲンを指す言い方はむずかしいものです。

クラスでも建物の上に見えるものについて何と表現すべきか、迷ってなかなか言えません。

- ・ 何に見えます？
- ・ カラスじゃないなあ・・・ニンゲン・・・かな？
- ・ うーん、惜しい、ヒトって言ってください。
- ・ あそこにヒトがいます。

「人」の意味を感じとるために、次の①～④の下線部分に人を入れて文を完成してみましょう。

- ① に指図されるのは嫌いだ。
- ② の言うことは気にするな。
- ③ は。 自分は自分。
- ④ に聞かれるとまずい。

▶ 「あそこ」と「あんなところ」はどう違う？

話し合っ出てきた表現が「あそこにヒトがいる！」でした。

「あそこに・・・」と「あんなところに・・・」では、伝わってくる感じが違いますね。そこで、湯のみを一つ、ちょっと離れた机の上におきました。

- ・ あそこに湯のみがあります。

その湯のみを、見えるけれど、普通、ありえない場所におきます。

- ・ 何て言います？
- ・ あんなところに 湯のみがあります。

出てこなければ、こちらから言えばいいですね。

<あんな・そんな・こんな>が意外性や驚きを表現していることを感じとって
てもらいましょう。

補 足 上のような「あんな・そんな・こんな」は連体詞と呼ばれ、体言の修飾だけに使われます。どんなものがあるか、辞書で確認してみてください。

イラスト 4 あれ、かぎがないぞ

経験のある人が多いので、すぐわかると思います。そのときどう解決したか話してもらいましょう。

イラスト 5 あ、ねふだがついてる

「ねふだ」かクリーニング店の「タグ」か意見が割れました。店が「つけた」ものを外さなかったので、結果として「ついてる」という状態。

- ・ あなたは、こういうことに気づいたとき、気軽に注意するほうですか。
- ・ 人に、何か注意されたことがありますか。

イラスト 6 あ、けむりが出ている

表現することになってくると、「工場の屋根が見える」「大きい煙突が見える」「きょうは風がないんだ」など、いろいろ発言してきます。

「煙突から・・・？」と先の表現を促すと、「煙が・・・」までは言えても、「出ている」はむずかしい。日常的な言い回しほどむずかしいのです。

ここで、1～6までCDを聞いて、リピートをします。

II - B

II Bを使って、<～が.....>文が人の注意を引くために使われることを理解しよう

【1】 イラスト1～4をやってみよう

自分の考えで、吹き出しにせりふを入れて発表してもらいましょう。その上でCDを聞いて文の形を確認したあと、自由に話を広げましょう。

イラスト 1 りんごが安いよ (pp. 3～4 参照)

- ・ おばさんは、何のために、大きな声をあげているのでしょうか。
- ・ あなたは、こういう声にすぐ反応して買う方ですか。

イラスト 2 タオルが なーい

- ・ 風呂場から手を出して叫んでいるのは誰？
- ・ 何と、叫んでいるのでしょうか。
- ・ お父さんは何と言っていますか。
- ・ 「ヤレヤレ」の後に、ひとことつけてください。

あなたは、だれに対して、どんなとき「ヤレヤレ」という気分になりますか。

ほっとした時にも、「やれやれ」と言うことがあるのも心得ておきましょう。

イラスト 3 ママ、富士山が見えるよ

よく見かける情景です。富士山に興奮している子どもたち。揺られて心地よくうたたね中のお母さん。

- ・ 子どもの声にお母さんはどんな反応をしたでしょう。

イラスト 4 ネクタイが曲がっているわよ

注意した人が、就職活動の指導の先生、または、口うるさいお母さんだと
して、この青年の反応をひとこと言ってみましょう。

あなたは、だれの、どんな様子が気になりますか。

➡➡➡ もう一度、日常の生活に戻ってみよう！

まわりを見回して、部屋の中や、窓の外の風景、友だちのようすなどで、気がついたことを何でも言ってもらいましょう。

「あ、ひまわりが 咲いている」

「すずめが 電線に止まっている」

「〇〇さん、髪型が 変わったわね」

「雨が 降りそう」「風が 強そうだね」

「あ、自転車の鍵が 落ちている。だれのだろう」etc.

会話の内容のまとめ

	話 題	目標の文型・表現	語彙・その他
1	世界の天気	<p>～は～です</p> <p>～をお伝えします</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の主要都市の名 ・気象の語彙 ・ニュース・天気予報などの切り出しのことは
2	受験生の母親	<p>～は？～は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験生が忘れてはいけない持ち物は何？ ・大丈夫だよ！ ・大丈夫だったら 	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんの気持ちは？ (心配で心配で一つずつチェック) ・子どもの気持ちは？ (わかっている。心配ないよ) (いちいち言わないでよ！) ・あなたは、出かける前、どんなことをチェックしますか
3	断水のお知らせ	<p>～が.....</p> <p>あれ、変だな</p> <p>お知らせが来ていた</p> <p>～でしょう➤</p>	<p>(断水に気がついた)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さんは、断水することを覚えていましたか ・お母さんの気持ちは？ (お知らせ見せたじゃない。忘れたの？)

2 章 あそこは肉が安いんです

➡➡➡ 日常のどんなところで使っているだろう

<～は～が.....>

豚肉はビタミンBが多いし、ゴーヤはビタミンCが豊富。だから
やっぱり、夏はチャンプルーだね。

(季節の料理・会話)

わたしはいつも、すみれ美容室。あそこはカットがうまいのよ。
値段はちょっと高めだけど。

(行きつけの店・会話)

八丁味噌は、煮込んでも風味が飛ばない。だから鍋料理にぴったり。

(雑誌・特産品紹介より)

日本は、清潔だ。景色がすばらしい、サービスがスピーディー、食事
がおいしい。

(新聞・広告特集より)

◇◇◇ 助詞「は」「が」をうまく使って話しましょう

文 法 : 助詞「は」と「が」

表現の形 : I ～は ～が.....

II ～は ～が.....んです (～は～だけど)

表現意図 : I 「は」で取り立てたものの特徴を言う

II なぜそれを選んだか、理由を言う

✌ これだけは押さえておこう——「は」と「が」を組み合わせて使う

基本を知っておこう

I ～は～が.....です — 特徴を言う

みどり町には五つのスーパーがあります。それぞれのスーパーの枠内にスーパーを構成している要素がいくつか書いてあります。それを読むと、各スーパーに次のようなお客の目や気を引くものがあることがわかります。

つばめスーパー	「肉が 安い」
マミー	「無農薬野菜が おいてある」
たまや	「惣菜が おいしい」
さくら	「駐車場が 広い」
たなか	「酒の種類が 多い」

引っ越してきた友人に、みどり町のスーパーについて説明を求められたとします。各スーパーの特徴を伝えようとしたら次のように言いますね。

- ・ つばめは、肉が安いですよ。
- ・ マミーは、無農薬野菜が置いてあるの。
- ・ ちょっと遠いけど、たまやは お惣菜がおいしいです。
- ・ さくらは 駐車場が広いですよ。
- ・ そうそう、たなかは お酒の種類がそろっていますね。

スーパーを一つずつ＜～は＞で取り立て、続けて＜～が....＞文で、その店の目を引く点を紹介します。

＜～は～が.....です＞文は、「は」で取り立てたものの、特徴を述べる働きをしているのです。

II ～は ～が.....んです — 問いに対し、理由を述べる

みどり町の山本さんには、食べ盛りの子どもが三人います。

食べるものをどこで買っているか尋ねられた山本さんの答は、当然ながら、

「つばめスーパーです」

「どうして？」という問いに

「(つばめスーパーは) お肉が安いんです」と答えています。

文末の＜～んです＞は、「どうして？」という問いに対して、理由を述べる働

きをしています。

食べ盛りの子どもが三人いる山本さんは、「肉が安い」という特徴を、つばめを選んだ理由としてあげています。

整理すると・・・

<～は～が.....んです>という文型には、下ののように、二つ要素が含まれています。

1. <特徴を言う>

Q: ～は どんなお店ですか。

A: (～は) ～がです。

2. <選んだ理由として、特徴を言う>

Q: どうしてそこを選んだんですか。

A: (～は) ～が んです。

付けたしのことば <～は～だけど> — どんな気持ちで言っている？

「つばめスーパーは 肉が安いんです」

と、つばめに行く理由を述べたあと、山本さんは

「野菜は ふつうだけど」と、ひとこと付けたしています。

つばめスーパーは、「肉が安い」こと以外、野菜も惣菜も取り立てて言うことはいらないようです。野菜は選んで行くほどの値段ではないけれど、子どもが食べ盛りの今は、「私にとって、肉の値段が店を選ぶときの決め手なんです」と言うほどの気持ちでしょう。

このひとことは、山本さんの家庭の事情や気持ちを反映するものです。

付けたしの<～は～だけど>は、課の最後にある会話の中で、次のような形で現れます。

どうしてつばめに行くの？

「肉が安いんです。野菜はふつうだけど」

どうして学校を休むの？

「せきがとまらないんです。熱は下がったんですが」

どうしてアルバイトをやめたの？

「仕事がきついんです。時給はよかったんですけど」


どうして駅前のそば屋に行くの？

「カレーがうまいんだ。そばはだめだけど」

補 足

この「付けたしのひとこと」の性質が、会話6、7（イラスト版 p.8 CDト
ラック No. 16, 17）で、婉曲話法として使われています。（本冊子 p. 22 解説参照）

クラスの前に準備すること

 イラスト版 pp. 5～6

【1】 山本さんを（例）に、＜～は～が....んです。.....は.....だけど＞の働きを捉えよう

みどり町には五つのスーパーがあります。

みどり町の住民、山本さんをはじめA～Dさんには、それぞれ行きつけのスーパーがあり、なぜそこへ行くか理由を語っています。

そこで、次の四点に注目しましょう。

- ① 五つのスーパーの特徴は何か
- ② 五人はそれぞれ、どんな暮らしをしているか
- ③ どんな理由で、行きつけのスーパーを選んでいるか
- ④ 選んだスーパーについて、他にどんなことを感じているか

ステップ1 文型の働きに目看向くような質問を用意する

① まず、五つのスーパーの特徴を言いましょう。

- ・ みどり町の五つのスーパーには、それぞれ、人の注意を引く目立った点があって、それが、囲みの中に書いてあります。

つばめスーパーの目立った点は何ですか。 (肉が 安い)

- ・ 他のスーパーの目立った点も同じように言ってください。

話し合いの結果出てきた文を、板書しておきましょう。

- ・ 目立った点を、それぞれのスーパーの特徴として言ってみましょう。

(つばめスーパーは 肉が安いです)

(マミーは)

(たまやは)

...

＜～は～が....です＞文が、「は」で取り立てたものの特徴を言っていることが理解できるようリードしましょう。

② 次に、山本さんの家庭の状況を言いましょう

- ・ 山本さんの家庭は、どんな状況ですか。 (食べ盛りの子が三人いる)
- ・ 食べ盛りというのは、何歳から何歳ぐらいまででしょう。
- ・ 山本さんは、食べるものをどこに買いに行くでしょう。 (つばめスーパー)

③ では、質問しますから、山本さんになったつもりで答えてください。

- ・ 山本さん、毎日食べるものをどこで買っていますか。（つばめスーパーですね）
- ・ へえ、どうしてですか。（理由は？）（あそこは、肉が安いんです）

④ ここで、C Dを聞きましょう。

- ・ 山本さんは、もうひとこと何と言っていますか。（野菜は ふつうだけど）
- ・ 山本さんは、どんな気持ちで言っていると思いますか。

（「安いのは、肉だけなのよ」「他の食料ももうちょっと安いといいんだけど」

「肉が安いから行くの。なにしろ食べ盛りが三人いるので」etc. ）

もう一度、山本さんになって、全体を通して会話してみましょう。

Q： 毎日食べるものを、どこで買っていますか。

A： つばめスーパーです。

Q： あ、つばめスーパー。 どうして。

A： つばめスーパーは、肉が安いんです。

Q： 山本さんは肉が好きなんですか。

A： いや、うちは育ち盛りが三人もいるから。

Q： あ、なるほど。

A： 野菜はふつうなんですけどね。

注 意

ここは、スーパーについて学ぶのが目標ではありません。

<～は～が...>文の働きを理解するために、スーパーという場を借りて
いるのです。スーパーに関する語彙が極めて単純なのは、意識を文型に集中
させるためです。スーパーを構成する要素の語彙については、**<自分のこと
で話しましょう>**のところで話し合しましょう。

クラスワークの進め方

【1】 山本さんの（例）を使って、<～は～が...んです。.....は.....だけど>の働
きを理解しよう

「クラスの前に準備すること」を参考に、**ステップ1**に沿って進めてください。

【2】 A～Dさんについて、やってみよう

山本さんの(例)と同じように、**ステップ1** に沿って進めましょう。

- ・ 五つのスーパーの特徴を確認しましょう。 (～は、～が～です)
- ・ Aさんにはどんな事情がありますか。囲みの中を読んでください。
- ・ ではAさんになって答えてください。
 いつもどこに買い物に行きますか。
 どうしてですか。 (～は、～が～んです)

話し合って、吹き出し内の下線のところに書き込んでください。CさんDさんについては「つけたしのひと言」もイラストを見て自由に書き込みましょう。
 よく話し合ってから、CDを聞いてリピートします。

【3】 <自分のことで話しましょう>をやってみよう イラスト版 p. 7

まず、スーパーについて日頃感じていることを自由に話し合ひましょう。話題に出そうなスーパーの要素をあげておきます。話し合うときの参考にしてください。もっと違う面を切り取ってくる人がいるかもしれませんね。

営業時間、立地条件 (家に近い、駅に近い)、売り場の広さ、商品のレイアウト、レジの数、店員のマナー、駐車場の広さなど
表示 生産地、賞味期限、添加物、遺伝子組替えなど
食料品 お惣菜の味と種類・冷凍食品・菓子・パン類など
生鮮食料品 肉、野菜、魚、くだもの、乳製品など
調味料 日本のもの、輸入もの
酒類・日用品・文房具・化粧品・シャンプー・洗剤 などなど

十分話し合ってから、作業として、まず、自分の家族構成や好みなどを左の枠に書きましょう。右の吹き出しには、表現の形を使って、自分の行くスーパーと、なぜそのスーパー行くか、理由を書きます。ひと言もつけましょう。
 この章の終了時に、これを書きことばに書き直して、発表してもらいます。
 しっかり土台を作っておいてください。

会話の内容のまとめ

	話 題	目標の文型・表現	問いかけの例など
1 A	駅前のそば屋	・そこ、おいしいの？ ～は～です	・あい子さんは駅前のそば屋を知っていましたか
1 B		・あそこ、おいしくないでしょう？ (～は)～が.....んだ。～は～だけど	・ひさ子さんは？ ・たろうさんの、二人に対する返事はどう違いますか
2	夜のスーパーで	～くなる (安い) ・会社の帰り ・この時間 ・ちよくちよく	・何と言って挨拶を交わしていますか ・Aさんのお目当ては何で、いつ来ると言っていますか ・惣菜は何時ごろ安くなりますか ・Bさんのお目当ては何ですか ・二人はどれぐらいこのスーパーに来ますか
3	アルバイトをやめる	～が.....。～は～だけど	・アルバイトを続けるかやめるかを決める条件にはどんなものがありますか
4	健康診断の結果	～が.....。～は～なんだけど ・～たことがある／ない →	・健康診断で、どんな検査を受けたことがありますか 結果はどうでしたか 経験のあるなしを伝える (行った・見た・食べた) ことがある／ない
5	「子どもが欠席する」と、学校に電話をかける	～は～んですけど、～が..... なんです ・あのう、～年～組の〇〇の母ですが → ・～に お伝えください →	・欠席の理由となる症状にはどんなものがありますか 学校への電話の名のり方 だれに伝言してもらおうか言う

6	お見合いの結果	・ 私たちは～だけど	・ 話題は何でしょう ・ 省略されている（～が...）は何でしょう ・ なぜ省略するのでしょうか
7	買い物	・ 色がちょっとね ・ 色はいいんだけどね	・ それぞれ、どんな（～は～）文（～が...）文が省略されていますか ・ むずかしい人ってどんな人？

▶ 相手の問いかけが 答の文型を選ばせる （会話 1）

同じそば屋の説明も、相手の関心のありどころで答が変わります。

文字版 p. 3 にある、会話 1 A と 1 B を比較してみましょう。たろうさんが、あい子さんとひさ子さんに、駅前のそば屋について答えています。

駅前のそば屋を知らないあい子さんには、品書きから品目を一つずつ「は」で取り立てて、自分が感じていることを順次伝えています。天気予報と同じように、客観的に全体像を説明する文型です。

- ・ 東京は、天気は晴れ。気温は 27 度。湿度は・・・
- ・ 駅前のそば屋は、カレーはおいしい。そばはまあまあかな。天丼は・・・

ひさ子さんは駅前のそば屋をおいしくないと思っています。

常連だというたろうさんに、「あそこ、おいしくないでしょう」と言いますが、そこには「おいしくないのに、どうして行くの」という響きがあります。たろうさんは、

- ・ あそこは、カレーがうまいんだよ。そばはだめだけど。

と足を運ぶ理由が、そば屋のカレーにあることを伝えています。

もし、たろうさんが、「確かに、そばはだめだね」とだけ言ったらどうでしょう。ひさ子さんは、「それでも常連だとしたら、何かお目あてがある。それは何だろう」と、品書きのあれこれを考えてしまうはずです。1 章で述べたように、「は」には、そばを含む品書きの品々に、聞くものの意識を広げる力があるからです。

▶ **婉曲話法** (会話 6・7)

文型 <～が.....。～は～だけど> は、<～は～>文の一方だけ言うと、聞き手に、発言されなかったもう一方の内容を暗示します。

文字版 p. 4 の会話 7 を見てください。

ブラウス選びの会話です。文字版では<～が...>文、<～は～です>文の後の[]に、略されている片方を書き込むことになっています。

ブラウスを決めるときには(色・柄・デザイン・素材・サイズ)などが買うか、買わないかを決める要素になります。

「色がちょっとね」の後のひとは、たとえば、「デザインはいいんだけど」となりますね。

「色はいいんだけど」の後には、たとえば、「サイズが合わないの」になります。

イラスト版には[]がありませんが、文型の働きをよく考えて、表現されていない方の文を補足してもらいましょう。

何かを決定する理由として、<～が.....>文が優先ですから、上の女性はこちらも買わないということですね。

ああでもない、こうでもない、と、むずかしい人だということがわかりますが同時に、「はっきり言え!」と、いらいらさせられる物の言い方でもあります。

同ページの会話 6 を見てください。

お見合いの返事です。「私たちは いいと思ったんだけどねえ」から想像できるのは、「本人がノーなんです」ということです。これは、日本人ならすぐ「察しのつく」話し方ですが、外国人にとってはわかりにくいものです。

省略された<～が.....>文が言わんとする拒否の表現を、暗黙の了解にまかせてしまう手法を、日本人は一種の婉曲話法として捉えますが、外国人にはあいまい表現の見本のようなものです。

注意

文型<～は～が.....>は、「そば屋の品書き」、「アルバイトの条件」、

「健康診断の細目」、「風邪の症状」、「見合いの結果に口出しできる人」など

「は」が取り立てる元のまとまりを、話し手と聞き手が共有している必要があります。見合いの結果に口出しできる人に、女性は含まれない国もあるし、最終決定は占いだったりする国があります。

会話を聞く前に、それぞれのまとまりがどんな項目で成り立っているか話し合っておきましょう。国による常識の違いが見えてきます。

➡➡➡ もう一度、日常の生活に戻ってみよう！

1. 自分の国のPRをしてください。どんな特徴がありますか。
2. 家族の紹介をしてください。どんな人ですか。
3. 夏（冬）に食べるとよい食べ物は何か。その理由は？
4. 旅行に行くとき、何で行きましたか（交通手段）。その理由は？

<～は、～が～です><～は、～が～んです>を使って、上のテーマで話しましょう。必要に応じて、「は」を省略したり、「も」を使ったりしてください。

下に例を挙げておきますから、参考にしてください。

1. 私の国はすばらしい

A： オーストラリアは、海がきれい。お肉やワインもおいしいよ。

B： リトアニアは、森がすてきです。水や空気がきれいです。

2. 私の家族はこんな人

うちは四人家族です。

夫は、40歳ですが、ちょっと髪がうすいです。お腹も出ています。

息子は高二です。すでに、夫より背が高いです。スポーツが得意でかっこいいけど勉強のほうはちょっと問題あり。

3. 夏に食べるといいもの

A： 毎日暑いですねえ。夏ばてしない食事って、何でしょうか。

B： 私は沖縄なんですけど、沖縄ではやっぱりゴーヤチャンプルーですね。

豚肉はビタミンBが多いし、ゴーヤはCが豊富なんです。

A： 早速作ってみます。作り方、教えてください。

4. 旅行の思い出

A： 北海道、どうでした。

B： レンタカーで回りました。電車は本数が少ないんですよ。それに、景色はいいけど、時間がかかりすぎるので。

A： そうですか。渋滞に会いませんでしたか。

B： いや、北海道は車が少ないですね。運転はとても楽しかったですよ。

< 話したことを書きましょう >

まず、(例)を読みましょう (イラスト版 p. 8)。話しことばと書きことばの違いがどこにあるか話し合ってください。その上で、先に書いておいた<自分のことで話しましょう>を使って、作文を書いてもらいます。話し合いの結果書きたくなったことは、何でも付け足しましょう。